

県民意見整理台帳

(「三浦半島魅力最大化プロジェクト(改定素案)」に係る提出意見及びこれに対する県の考え方)

1 意見募集期間 令和6年12月18日(水曜日)～令和7年1月16日(木曜日)

2 意見募集の結果

(1) 提出意見総数 76件、意見提出者数 43人

(2) 意見内容の分類(意見分類)

区 分	件数
1 三浦半島地域活性化全般に関する意見	11
2 「観光の魅力」に関する意見	37
3 「半島で暮らす魅力」に関する意見	22
4 プロジェクトを推進する基盤づくりに関する意見	4
5 その他	2
合計	76

(3) 意見の反映状況(反映区分)

区 分	件数
A プロジェクト(改定案)に反映した意見(意見の趣旨を既に記載している場合を含む。)	24
B プロジェクト(改定案)に記載はないが、既に取り組んでいる施策等に関する意見	4
C 今後の取組の参考とする意見	44
D プロジェクトに反映できない意見	1
E その他(感想・質問等)	3
合計	76

※ 「意見要旨」については、原則として頂いた文言を記載しておりますが、一部字句の変更、表現の調整、表現の割愛等を行っているものがあります。

神奈川県政策局自治振興部地域政策課

【意見分類】		【反映区分】	
1	三浦半島地域活性化全般に関する意見	A	プロジェクト(改定案)に反映した意見(意見の趣旨を既に記載している場合を含む。)
2	「観光の魅力」に関する意見	B	プロジェクト(改定案)に記載はないが、既に取り組んでいる施策等に関する意見
3	「半島で暮らす魅力」に関する意見	C	今後の取組みの参考とする意見
4	プロジェクトを推進する基盤づくりに関する意見	D	プロジェクトに反映できない意見
5	その他	E	その他(感想・質問等)

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
1	4	休日車でレジャーに出かけた際の交通渋滞の解消を求めます。	A	いただいた御意見については、「プロジェクトを推進する基盤づくり」の「交通ネットワークの整備推進」に位置付けており、引き続き取り組んでまいります。
2	3	しごと(三浦半島スタイル)の確立への提案 (1) ポイント 都会へ近い三浦半島の長所を活かし、週の半分を三浦半島で過ごし、半分を都心のオフィスで働いてもらう。都心にも近いという三浦半島のメリットを活用した提案となります。 (2) 背景 在宅勤務も見直しがされ、出社回帰が進んでいる。しかし都心のオフィスは狭く全員が出社とすることがなかなか難しく、かといって都内にオフィス拡大も困難である。元々この出社回帰は、面着によるコミュニケーション向上を目的としたもの。 都心の本社などの事務所だけでなく、サテライトオフィスのようなものが三浦半島にあればニーズはあると判断、さらに今日は都内、明日はサテライトオフィスと選択できることはかなりニーズが高いと予想し、かつサテライトオフィス近場に住んでもらえれば、三浦半島の発展にもつながると思います。 (3) 具体的な提案 1. 三浦半島において、サテライトオフィスビルを建設。その部屋を各契約した企業に貸し出す 2. 各企業の従業員は、そのサテライトオフィスもしくは都内の本社などの事業所のどちらかに出勤し、仕事を行う 3. 従業員の方々には、三浦半島で家を購入してもらええるような補助金を出す 4. 社員の寮を三浦半島内に建設してもらうのも一案	C	御指摘のとおり、三浦半島は、都心へのアクセスが良いという魅力と豊かな自然に恵まれているという魅力を併せ持っています。そこで、県ホームページでは、県内の鉄道路線ごとに、地域の魅力とテレワーク拠点の情報を紹介しています。いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
3	2	広域観光の展開・プロモーションへの提案 (1) ポイント 横須賀美術館周辺への観光客数向上を目的としたもの。近くに高速道路がある利便性並びに景色の良さを最大限活かす提案 (2) 提案 ・横須賀美術館に並列する形でスターバックスを建設 ・大規模に席数を作り、海を見ながらコーヒーが楽しめる場所を提供 ・同時に周辺に地元の魚料理が食べられるお店を建設 ・大量の観光客来場に備えて、駐車場を増加。もしくは近場まで車で来て頂き、あとはバスで輸送を検討 (3)最後に 私は横須賀美術館のレストラン並びに周辺のお店によく行く東京世田谷区の者です。交通的にも車ですぐに行くことが可能であり、かつ景色も素晴らしい。もっと拡大できる余地があると思います、このような提案をさせて頂きました。	E	県有施設ではないため県として対応することはできませんが、御意見については、横須賀美術館の施設管理者である横須賀市に情報提供させていただきます。
4	1	三浦半島の一体性について 三浦半島で暮らす人々は、三浦半島を一体のエリアとしては実感していないものと思います。 4市1町の中のそれぞれのコミュニティが強い個性を発揮しながら近接して共存し、結果として「三浦半島」という地理的空間を形成している“フォトモザイクアート”のようなエリアです。そこで、ひとつの試みとして実際にフォトモザイクアートを制作してはどうでしょうか。 4市1町それぞれに「農産品」「水産品」「工芸品」「アート作品」「風景」「街並み」など、それぞれの地域を特徴づける画像を収集し、航空写真をモチーフとして4市1町ごとにフォトモザイクアートを制作し、これを三浦半島として合体させたとき、どのようなコントラストの絵ができあがるか興味深いです。この完成したフォトモザイクアートを多くの地元住民の方々に観察・鑑賞していただくことが「三浦半島」を意識することにつながるかもしれません。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
5	3	「半島」性の強調について 例えば能登半島は加賀藩であったという文化の共通性をもっていきます。北前船を介した海洋性文化と歴史も共有しているものと考えられます。田舎らしさを残しながら都市的発展を経てきたという経過も住民の文化感覚に色濃く残っているものと思われます。それに対して天領地域であった三浦半島は、半島としての文化的共通性を持っていません。もちろん歴史的には行政界を越えた共通性もあるわけですが、すっかり忘れ去られて歴史文化財という遺産のかたちでしか認識されていません。東京・横浜につながるエリアということもあり、急速な大都市化・大都市郊外地域化が進んだこともその理由かと思います。 つまり、三浦半島の住民としては、三浦半島を一体のエリアとしては実感していないことに加えて、「半島」で暮らしているという実感も同様にないものと思われます。 したがって、「半島」性を強調することは地域住民の共感を得ることにはつながりにくいものと思われます。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
6	1	三浦半島の活性化が実施されたかどうか、つまり三浦半島内の市民の資金が半島内で回り、三浦半島外の市民の資金が三浦半島で活用されているかを測る指標として環境省の地域循環共生圏の地域経済循環分析を取り入れるなど、形上ではなく実質的な活性化につながっているかを計っていく必要があると思います。 (地域循環共生圏 地域経済循環分析、地域指標分析) https://chiikijunkan.env.go.jp/manabu/#a-manabu-bunseki	C	いただいた御意見については、今後の政策運営の参考とします。
7	2	「観光の魅力」について、昨今は日本各地でアニメーション作品の舞台をめぐる観光が活発に行われています。三浦半島が舞台となっている作品も多くあり、まずはそれを紹介することで訪れる人を増やし、舞台めぐりがきっかけで訪れた人に、地域のほかの魅力に気づいてもらうといった仕掛けも有効であると考えます。また、「海の魅力」では、釣りの魅力も紹介してみてはいかがでしょうか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
8	3	「観光の魅力」を「暮らす魅力」につなげていく仕掛けも施してみてはいかがでしょうか。民家や空き家、町内会館などに宿泊してもらい、農業体験、漁業体験、地域のイベントの準備などに携わりながら観光を楽しむ。いわば疑似移住から始めて、関係人口や移住者の増加につなげていく仕掛けです。個性的で魅力的な宿泊スタイルが体験できる場所を増やすことにより、宿泊観光客の増加、滞在時間の増加につなげることができると思います。 上記を踏まえ、このプロジェクトの予算は、観光開発に重きをおくのではなく、移住者への補助や、移住体験型の観光客への特典にも利用されるとよろしいかと存じます。	A	御意見の趣旨については、「10 若者や働く世代から選ばれる「半島ライフ」の提案」の「関係人口の創出」に反映しました。
9	3	三浦市に住んでいます。三浦市は以前住んでいた東京都と比較して、とても時間の流れがゆったりしていて、周りの人との交流も盛んになり、とても充実しています。そう言った三浦半島の良さをもっとアピールして、移住者を増やして行くべきだと思います。	A	三浦半島魅力最大化プロジェクトでは、半島で暮らす魅力を高める取組を充実させ、移住・定住を促進してまいります。
10	2	西浦内浦下浦三力（みりょく）委員会 三浦半島漁港食べぐるり 三浦半島の漁港巡り	C	漁港を含めた“みなと”のにぎわいをつくるための取組を推進してまいります。いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
11	3	漁業農業畜産に障がい者の従事者を増やす	B	県では、農福連携マッチング等支援事業やかながわ水産業福祉連携推進事業の取組を推進し、障がい者等の就労・雇用の確保につなげてまいります。
12	2	三浦半島の海、陸プロガイドの要請	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
13	3	よこすかライフ 東側：米軍基地、アメリカン、音楽、バイク、クルマ、昭和的不良の町づくり 西側：リゾート地 中心部：住居と生活の地域 別荘税徴収	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
14	2	めぐりの森野外ライブ	C	めぐりの森は、大楠山に連なる緑の再生・保全と活用を図る地区となっています。いただいた御意見については、今後の取組の参考とします。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
15	2	まず三浦半島に長く滞在してもらい交流人口、関係人口を増やしていく目的なら、KPIに宿泊者数を入れるべきかと存じます。 高齢者の移住促進についても記述があるが、鎌倉市の湘南鎌倉総合病院などの基幹病院と連携して、医療ツーリズムを国内のみならず海外も対象にしてプロモーションしていったらどうでしょうか。県が施策として進めている未病対策の観点からも長期滞在してもらい、そこから移住につながっていくと思います。その際、高齢者に限りませんが、耕作放棄された農地を市民農園として開放し、農作業をすることによって自給自足とともに健康増進が図れます。同様の取組が漁業でも可能かと思います。発想の原点は、アメリカのアリゾナやフロリダなどのリタイアメントコミュニティが参考になります。 2025年9月の完成を目指すようだが、城ヶ島京急ホテル跡地に建つ「ふふ城ヶ島」のような高級ホテルをさらに誘致できると上記の医療ツーリズムなどが促進されると思います。	C	三浦半島地域4市1町の入込観光客数は、宿泊客数と日帰り客数の合計になりますので、宿泊客数についても都度、実績を把握してまいります。 医療ツーリズムの取組については、関係機関等の意向も踏まえながら、今後の地域活性化の取組の参考とします。
16	2	広域観光圏のことが書かれているが、Hello Cyclingなどの企業と連携して電動を含むレンタル自転車をもっと活用したらどうでしょうか。そのためにはデジタルモデルコースマップや駐輪場の整備が必要になると思います。	A	県では、スポーツによる地域活性化に向けて、本県の豊かな自然環境を活かして広域的な周遊を促進するサイクルツーリズムを市町村や地域団体等と連携して推進しております。こうした取組を「4 広域観光・周遊の促進」の「三浦半島の周遊促進」に位置付けて引き続き取り組んでまいります。
17	3	三浦半島の魅力化につなげるために、以下の施策が必要だと考えます。 ・三浦半島内の魅力的な人材同士が繋がること ・繋がりから、魅力化につながる新しい取り組みが生まれること ・繋がりから、自律的に魅力化に向けた取り組みが生まれるネットワークが形成されること そのためにまずは、コミュニティの形成が重要だと考えます。	A	県では、三浦半島地域の多様な事業者が地域課題解決に向けて連携する場（三浦半島みらいミーティング）の形成等を通じ、参加事業者による地域活性化事業を促進しています。 御意見の趣旨については、「8 しごと「三浦半島スタイル」の展開」の「多様な主体との連携促進」に位置付けて取り組んでまいります。
18	3	三浦半島の良さを「知って」「来て」「住んで」もらうというステップは否定しないが、20歳代の流出が多いということについて、住民としての意見を言わせていただきます。 いつも物足りないのが、海産物でも農産物でも、地元の加工品が極めて少ないこと。「うらり」に行ってもひものなどはともかく、瓶詰などは「沼津産」などがほとんどで、地元の加工品は見当たりません。やはり、地元の産品を地元で加工して売ることをもっと広めるような施策を打ってはどうか。	A	御意見の趣旨については、「9 産業の活性化」の「6次産業化による農畜水産加工品及びサービスの高付加価値化」に位置付けて取り組んでまいります。
19	3	今は大きなイベントや大掛かりな施設ではなく、地元の日常を体験できることがブームになっています。三浦ならではの港町や農村の生活を、地元の方々とタッグを組んで体験してもらうなど、息が長く続けられればいいかと思います。	A	御意見の趣旨については、「10 若者や働く世代から選ばれる「半島ライフ」の提案」の「関係人口の創出」に反映しました。
20	3	「住む」ですが、私は子供が生まれてすぐ三浦海岸に家を買ひ、もう20年以上住んでいます。 特に、子供が小さい頃は、海、山、畑を存分に家族で楽しみ、子供の情操教育にもプラスになったと思います。 しかし、子供が成長すると状況は一変。なぜこんな不便な所にいるのか、と文句を言われる始末。横浜まで1時間かからないとはいえ、子供にとってはそれでも十分「遠い」ところだそうです。 私たちが好ましく思う「自然豊かな環境」も、成長した子供には魅力がないようで、都会へひきつけられてしまうというのが現実かと思います。 そこで、今後目指すべきは一発逆転ホームランではなく、こつこつ稼ぐ「バントヒット」狙いで、小さい子育て中の家族が数年間だけでも、どんなに子供が騒いでも文句を言われず、自然の中で遊ばせることができるような戸建て住宅をリノベーションし、数年間格安で貸し出すような施策がよいのではと考えます。 自らの体験から、必ず一定の需要はあると思います。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
21	3	今後は少子高齢化がさらに加速化して行くことを踏まえ、単に人口の奪い合いでは、地方は衰退して行くと思います。各地域の魅力を最大限発揮して、地域に関わる人を増やしていくことが大切です。	A	御意見の趣旨を踏まえ、本プロジェクトでは4つの魅力（「海・食」、「地域」、「働く」、「住む」）を最大化し、三浦半島地域の活性化を図ってまいります。
22	4	昨年1月1日の能登半島地震では道路が被災して交通がマヒし、いまだに復旧していない。三浦半島も能登半島と同じく半島という地形から地震で交通がマヒすることが懸念される。万が一の時にもリスクを減らせるよう道路の整備を進めてほしい。	B	本県の道路事業においては、「かながわのみちづくり計画」に基づき、防災・減災力の強化といった視点などから幹線道路網の整備のほか、「土砂崩落対策」や「橋梁の耐震補強」など、道路施設の災害対応力の強化に取り組んでいます。
23	2	○海水浴海水浴場等の環境整備（県・市町・民間） 三浦海岸海水浴場に関して、「海水浴場施設の占用許可に係る審査基準」に、『審査基準施行以前から海の家を毎年継続して行っている組合』（第8条3項）という縛りがある。 三浦海岸では二つある組合のうち一つが解散してしまったため、従来の海の家が設置できなくなってしまった。 この点、例えば『審査基準施行以前から海の家を毎年継続して行っている、“又はそれに準ずる組合“』といった風に基準の見直しを図れないのか。	C	いただいた御意見については、今後の海岸利用に関する取組の参考とします。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
24	2	○三浦半島の周遊促進（県・市町・民間） 西海岸のアクセス改善が図れないか。オーバーツーリズム状態の鎌倉から半島へ来遊者を回遊させたい。 鎌倉殿の13人を契機としてアクセスバスの実証運行や、オープントップバスの運行を行い、参加者からは好評ではあったものの、収益性を鑑みて、バス事業者単独では事業化は断念せざるを得なかった。 通年毎日運行でなくとも、週末のみ、繁忙期のみでも路線バス、あるいはツアーバス形式での運行を促すような施策を行えないか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
25	2	○観光関連施設の利便性向上（県・市町・民間） ハード面整備は、1/2～1/3補助だったりするが、取り組ませたい事業者は中小どころか個人経営で、ごくわずかな資本投入でも困難なため、老朽化、陳腐化が進んでしまう。 重複補助は困難であろうとは思いますが、国（観光庁）の補助を1/2活用し、不足分を県が補填するような施策は無理か。	C	いただいたご意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
26	2	○おもてなし人材の育成（県・市町・民間） 市町で人材を育成するための施策が打てないか。例えば、コロナ禍に観光庁が展開していた「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修」 https://www.jlicensed.com/ を、市町で開催するに当たっての費用補助など。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
27	1	三浦半島には豊かな自然と観光資源、さらに大きく広がる農地などがあります。 最近これらの利点をSNSなどで発信してもらう手段を考えてみて以下の方法は出来ないかなと思っています。 1. 趣味的なドローンを飛行できるエリアを自治体自ら確保し、空撮映像をSNSにアップしてもらう。 東京都内や横浜市内ではドローンを飛ばすことは法律的にも難しいため、趣味的なドローンを飛ばしたい人のために比較的空撮許可が容易に取れそうなエリアなどを用意して上空からの三浦半島内を撮影し、SNSで発信してもらう。例えば、城ヶ島、和田長浜海岸、三浦富士などからの眺望など 2. 一泊二日の空撮ツアーを旅行会社とドローン教室を主宰している県内の会社とタイアップするよう県公認で推進する。 北関東三県からの旅行者を誘致するために、単なる三浦半島の観光にとどまらず、一泊二日のドローンの操縦体験をしてもらい、日帰りだけではなく宿泊客を増やすと共にドローン空撮によりSNSで三浦半島からの眺望を発信してもらう。近くに民家の無い休耕地などで行えば、国交省の許可申請が不要かつ土地の所有者だけの許可でドローン操縦体験ができます。 ドローンに興味を持つ人が増えていますが、なかなか空撮などの体験ができないので三浦半島の魅力を伝えるためこのような提案をしました。ご検討頂ければ幸いです。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
28	2	コロナも収束し、日本人も外国人も旅行をするようになり、鎌倉では江ノ電が非常に混雑するなど生活にも影響が出ている。観光客に来るなどとは言わないが、このようなオーバーツーリズムの問題を何とか解決できないか。	A	御意見の趣旨については、「4 広域観光・周遊の促進」の「三浦半島の魅力発信、観光客の分散化」に位置付けて取り組んでまいります。
29	2	海に囲まれた三浦半島の魅力の一つとして魚があると思う。日本人は普段の食事では昔より魚を食べなくなってきたが、観光客にとっては日本人にも外国人にもマグロをはじめとした三浦半島の魚はコンテンツとして刺さるはず。	A	御意見の趣旨については、「3 地産地消ブランディング」の「農水産物のブランド化」に位置付けて取り組んでまいります。
30	1	現状では、県や市町などの公共施設を官民連携で活用していく政策が不足していると思う。 昨年、県と横須賀市が取り組んでいた横須賀美術館でのジブリ展や、城ヶ島公園、その他公園などの県有施設を活用して、官民連携をした活性化政策が必要だと思った。	B	県立都市公園においては、「公募設置管理制度（Park-PFI）」を活用し、民間活力を生かした公園の整備・管理や利用の促進を図っています。
31	2	イタリアの事例を参考にすることは良いが、三浦半島の地域の特色を活かした形で実施していく必要があると思う。	A	御意見の趣旨を踏まえ、本プロジェクトでは4つの魅力（「海・食」、「地域」、「働く」、「住む」）を最大化し、三浦半島地域の活性化を図ってまいります。
32	1	三浦半島として、鎌倉市までがひとくくりにされているが、その他の市町と鎌倉市は特色や市としての立場が違うと思う。 例えば、鎌倉市は観光客がその他市町よりも多くの方が押し寄せており、オーバーツーリズムが言われている。 また、社会増減についても、鎌倉市は増加していると考えられる。 そのため、行政区として、鎌倉市とそれ以外で分けて、政策を考えた方が良いのではないか。	C	いただいた御意見については、今後の政策運営の参考とします。
33	2	プロジェクトの中に「海の駅」の記載が何か所も出てきますが、海の駅を活用した具体的施策について言及がないように感じました。具体的に記載していただけると助かります。	C	海の駅を活用した具体的な施策は現時点で想定はありませんが、海の駅を含む“みなと”全体のにぎわいをつくるための取組を検討し、観光の魅力を高めてまいります。
34	2	2ページの表2-1「入込観光客調査」によると、県全体では観光客が戻ってきていますが、三浦半島では戻ってきていないようです。移住促進も大切ですが、まずは交流人口・関係人口の増加・回復をしっかりと行ってほしいです。観光資源が豊かな三浦半島に、より多くの観光客が来てくれたらと思います。	A	コロナ後、再び観光需要が高まり、海外からのインバウンドも含め、観光による交流人口の増加が期待できるこの時期に、さらなる魅力向上に取り組んでまいります。
35	5	3ページの三浦半島の地図に誤りがある。 本町山中有料道路は無料化したので、青色なのは誤りである。 劔崎付近に「浦賀水道」と記載があるが、ここは浦賀水道ではない。 浦賀水道は観音崎より北側である。	A	御意見を踏まえ、三浦半島の地図を修正しました。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
36	2	1 多様な海の楽しみ方の発信 ・マリンスポーツを楽しめるきっかけづくりとして、安全に楽しめるSUPなど、マリンスポーツ教室を開催したらどうか。 ・三浦半島の海岸で手ぶらでバーベキューを楽しめる場所を用意したらどうか。 ・三浦半島は、年々海水浴場が減少していて、砂浜はあるのに泳ぐところがない。海水浴場を増やしてほしい。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
37	2	2 “みなと”のにぎわいづくり ・海の駅の認知度が道の駅に比べて低い。PRが必要である。 ・漁港でもっと朝市など直売を実施したらどうか。 ・民間マリーナと行政の連携が重要ではないか。	C	プロジェクトでは、海の駅、漁港、民間マリーナを活用した“みなと”のにぎわいをつくるための取組を推進していくこととしています。 いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
38	2	3 地産地消ブランディング 三浦野菜・よこすか野菜など市町ごとにPRしているが、特に大きな違いはないので、三浦半島野菜としてPRしてはどうか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
39	2	4 広域観光・周遊の促進 平日の運賃や観光施設の料金など割引を実施してはどうか。 例えば、葉山～横須賀中央や、葉山～ソレイユの丘は直行バスがない。自家用車がなくても観光地を回りやすいように、観光地を周遊するバスがあるといい。 周遊促進のため、例えば横須賀美術館と近代美術館の相互割引を実施してはどうか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
40	2	5 外国人観光客等受入環境づくり 外国人観光客誘致のため、各市町の姉妹都市に三浦半島のPRをしてはどうか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
41	2	6 新たな観光資源の発掘・磨き上げ 例えば、三浦半島最高峰の大楠山は、展望台・売店が閉鎖されている。荒崎公園は浸食と老朽化により、園路が通行止めになっている。 関東ふれあいの道の三浦岩礁のみちも一部通行止めになっている。 このように、素晴らしい観光資源があるのに老朽化により活用できないのが、とてももったいないので、適切な管理を希望する。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。 また、観光地の適切な管理については、関係市町にも情報提供させていただきます。
42	2	7 湘南国際村の活性化の推進 湘南国際村は、スーパーが1軒もなく不便なので、誘致を希望する。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
43	3	8 しごと「三浦半島スタイル」の展開 県・市町の空いている会議室を活用してコワーキングスペースを設けてはどうか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。 また、関係市町にも情報提供させていただきます。
44	3	9 産業の活性化 三浦半島には、放棄された竹林が多いので、竹林の管理や竹・タケノコの有効活用が必要で、新たな産業につながる可能性もあるのではないか。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
45	3	10 若者や働く世代から選ばれる「半島ライフ」の提案 転出抑制には、実際に転出した人にアンケートや聞き取りをして転出した理由などを調査するのが有効ではないかと思う。 新しい住宅地は山の上にあり急坂を登らなければならない、コンビニや商店が1軒もなくバス便もないかあっても少ないのが実情である。 そのような現状を改善すればおのずと人口減少も抑えられるのではないか。	C	いただいた御意見については、今後の移住・定住施策の取組の参考とします。
46	3	11 子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくり 住宅地に商店がなくバス路線もないので、高齢者は免許を返納したくてもできず、返納したら買い物難民になってしまう。 そのような状況を改善してほしい。	C	いただいた御意見については、今後の施策の参考とします。
47	3	12 脱炭素につながる環境にやさしい暮らしの実現 温室効果ガスを削減するには、炭素を固定化する必要があり、社会は炭素が循環することで成り立っている。 炭素が悪いのではなく、二酸化炭素の排出が増えるのに対して、固定量が増えないのが問題なのである。 ・横須賀線も京急も成田空港につながっているが、成田空港への直行便が少ないので、増やせないか。（直行バスでも可） ・JR逗子駅での停車時間が長く乗り換えも階段を使う必要があり不便なので、改善してほしい。 ・JR久里浜駅と京急久里浜駅の乗り換えが不便なので、JR改札口の移設と西口の設置を希望する。	C	温室効果ガスの削減に係る御意見の趣旨については、「12 脱炭素につながる環境にやさしい暮らしの実現」の「ブルーカーボンの推進（磯焼け対策）」に位置付けて取り組んでまいります。 なお、いただいた交通政策に関する御意見については、今後の交通政策の参考とします。
48	2	海上交通は便利かもしれないが、運賃が高く予約も必要なので、気軽に乗れない。 海上タクシーというと好きな時に好きなところに行けるイメージなので、航路も時間も決まっている海上タクシー（乗合）は、海上タクシーというより予約制の定期船ではないか。 障害者割引があると、障害者も利用しやすいと思う。	C	いただいた御意見については、今後の海上交通の参考とします。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
49	2	電動キックボードは車輪が小さく転倒の危険性が高くヘルメットの着用義務もなく危険ではないか。 「かなライド@みうら」は、電話でも利用できるようにすると高齢者が利用しやすいと思う。 自走式ロープウェイは、三崎と城ヶ島の間やくりはま花の国内に導入してはどうか。	C	令和5年7月1日に道路交通法が改正され、車体の大きさ（長さ190cm以下・幅60cm以下）、車体構造（速度20km/h以内ほか）など、一定の基準を満たす電動キックボードは、特定小型原動機付自転車と定義され、16歳以上であれば運転免許がなくても運転ができるようになりました。 なお、国土交通省が求める保安基準を満たした装置を備えた車両でなければ、道路での走行が許されていません。 （参考：政府広報オンラインより） https://www.government.go.jp/useful/article/202306/2.html また、「かなライド@みうら」への御意見については、実施主体の三浦市に伝えてまいります。さらに、「自走式ロープウェイ」への御意見については、今後の取組の参考とします。
50	3	「新婚世帯への支援」はよいと思うが、所得制限が設けられていて利用できないことが多い。所得制限を撤廃できないか。	C	御指摘の点については、国の結婚新生活支援事業において、所得に係る補助要件の緩和を行うよう要望しております。いただいた御意見については、今後の結婚支援の取組の参考とします。
51	3	ブルーカーボンも重要だが、手入れのされていない放棄された森林の手入れを行い、里山の再生を行うことも重要ではないか。 例えば、修学旅行生を里山の再生作業に誘致したり、学校と連携して再生をしたりしてはどうか。 海洋プラスチックごみの削減にはペットボトルの使用抑制やレジ袋削減も有効かもしれないが、ペットボトルやレジ袋をきちんと処分すれば何も問題ないはずである。 河川や砂浜のごみを回収することに力を入れたほうが、海洋プラスチックごみの削減に有効ではないか。	A	里地里山については、「6 新たな観光資源の発掘・磨き上げ」の「里地里山の保全と活用」に位置付けて取り組んでまいります。 また、海洋プラスチックごみの削減については、「12 脱炭素につながる環境にやさしい暮らしの実現」の「プラごみゼロの推進」に位置付けて取り組んでまいります。
52	1	昨年、人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体では、三浦半島においては三浦市が消滅可能性自治体とされた一方で葉山町は自立持続可能性自治体とされた。この分析を鵜呑みにするかどうかという問題はあるが、同じ三浦半島の自治体でも正反対の未来が描かれていて、抱える課題も異なる。自治体の課題に応じた取組が必要だろう。	C	御指摘のとおり、地域の活性化に向けては、その地域の特性を生かした取組が重要と考えます。
53	3	4ページの表3の「転出入の状況」を見ると、20代の若者が都内だけでなく神奈川県内の他の地域（主に横浜・川崎）に多く転出しているのが分かりました。こうした若者が他地域に転出しないためには、地域の魅力を高めるとともに、こうした若者の地域への愛着心を育むことも大切だと思います。	C	若者が他地域に転出しないよう、若者や働く世代をターゲットとした移住・定住につながる取組を推進してまいります。
54	1	プロジェクトの方向性について、地域の「マグネット力」を最大にして…という表現がありますが、この「マグネット力」というのは具体的に何のことですか。聞いたことがない単語です。三浦半島の人には馴染みのある単語であれば特に問題ないのですが、通常の文章に入れるとしたら違和感がある単語だったので、かつ、何のことか分かりづらい単語だったので、削除して他の言葉にするか、注釈を入れるべきだと思います。	A	いただいた御意見の趣旨については、「プロジェクトの方向性」に反映しました。
55	4	三浦半島はとにかくアクセスが悪いです。渋滞も酷いです。地形的なこともあるので難しいとは思いますが、道路整備をしっかりと進めてほしいと思います。	A	いただいた御意見については、「プロジェクトを推進する基盤づくり」の「交通ネットワークの整備推進」に位置付けており、引き続き取り組んでまいります。
56	2	地域まるごとホテルは期待しています。三浦半島の資源を生かした新しい滞在型観光がいくつもできると嬉しいです。	E	三浦半島における新たな滞在スタイルを構築し、観光客の滞在時間の延長や平均消費額の増加を図ってまいります。
57	2	三浦市のライドシェアは、ニーズがそれなりにあってやっていることなのでしょう。三浦市にとって本当に必要な施策とは思えないので、無理に進める必要はないのではないのでしょうか。	C	令和6年4月から12月までに行った実証実験の結果、一定の需要があることは確認していますが、いただいた御意見については、今後の取組の参考とします。また、実施主体の三浦市に伝えてまいります。
58	1	計画期間3年は地域活性化の計画としては短いと思います。また、地域活性化の計画としては少し総花的過ぎるかと思います。今回の改定はこれでいいですが、もし3年後にまた改定するのであれば、テーマを絞った計画にするか、あるいはもっと構想的な理念的な計画にして計画期間を10年とかにしてもいいと思います。	C	いただいた御意見については、今後の政策運営の参考とします。
59	2	三浦半島の周遊促進は大きな課題だと思います。環境に配慮した各種交通手段を最大限に活用して、先進的な取り組みをどんどん進めてください。	A	御意見の趣旨については、「4 広域観光・周遊の促進」の「三浦半島の周遊促進」に位置付けて取り組んでまいります。
60	2	三浦半島は宿泊観光をするイメージがありません。同じ神奈川県でも箱根は宿泊観光のイメージがあります。三浦半島にも泊まってゆっくり楽しめるアクティビティがたくさんあると思うので、そういったコンテンツをセットにして打ち出すことで宿泊観光客をもっと増やしてほしいです。	A	御意見の趣旨については、「6 新たな観光資源の発掘・磨き上げ」の「新たな滞在スタイルの提供」に位置付けて取り組んでまいります。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
61	2	湘南国際村の活性化、期待しています。インターナショナルスクールが来ることで、まさしく国際色豊かな地域になると思います。IGESがあそこにあることもすごいことだと思います。国際色と環境色をもっとアピールして、一度は訪れてみたい先進的な地域になってほしいです。	E	湘南国際村計画に基づき、国際交流拠点としてより一層の交流・連携の強化及び発信を図ってまいります。
62	3	三浦半島は新しいことをやること（起業、出店など）に寛容な地域だと思います。都会でやってみたいけど家賃が高いから無理という方も多いと思います。新しい何かにチャレンジしやすい地域として、何か施策を打ち出してみるのはどうでしょうか。	A	御意見の趣旨については、「8 しごと「三浦半島スタイル」の展開」の「地域課題を解決するしごとの創出」に位置付けて取り組んでまいります。
63	1	三浦半島はどこにあるのか、どんな市町村があるのか、東京の人は実はよく分かっていないと思います。伊豆半島が三浦半島と知っている人も多いと思います。都内から電車ですぐ行けることなど、意外と身近であることをもっとアピールすべきだと思います。	A	三浦半島地域の魅力について、積極的に情報発信を行ってまいります。
64	3	横須賀には空き家がたくさんあります。23ページに、空き家を移住の受け皿として活用していくとありますが、住居としてだけでなく、民泊などの宿泊施設としてや地域交流の場として活用していくことも大事だと思います。横須賀のブランドイメージにもつながりますので、多様な施設として利活用していったほしいです。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
65	1	横須賀・三浦のイメージがあまりよくない。米軍、スカジャン、軍港、軍艦、ペリー、まぐろ、漁船、遠洋漁業、だいこん。海も東京湾、コンクリートの港のイメージ。三浦海岸がきれいな砂浜でウインドサーフィンのメッカであることは知らなかった。鎌倉・逗子・葉山のハイソなイメージに寄せるのも違うし、どうしたらいいのだろうか。ブランド戦略をこのプロジェクトに入れ込むことはできないか。	A	御意見の趣旨については、「10 若者や働く世代から選ばれる「半島ライフ」の提案」の「文化芸術やスポーツ等による地域ブランディング」に位置付けて取り組んでまいります。
66	1	マスコットキャラクターの制定：三浦半島（4市1町）の白地図は、左方向にリズミカルに滑走する動物（？）に見える。これをモチーフにしたキャラクター（類似イメージは千葉県のチーバくん）を制定し、積極的に活用し浸透を図る。 （1）デザイン：公募でも良いと思うが、三浦の特色（海・黒船・ヨット・サーフィン・魚・三浦野菜・葉山牛・神社仏閣など）をコラージュし、カラフルで陽気なイメージのものにする。 （2）名前：「LAUMI：ラウミ」で良いと思う。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
67	2	リゾート感の醸成： （1）首都圏最近傍のリゾート半島を目指すべきだが、現状JR・京急の各駅とも下車した際の非日常感＝ワクワク感がない。2社と協働し、主要駅及び周辺をリゾート感に溢れた雰囲気改造／改修する。 （2）主要駅のみ停車する特別列車（JR踊り子号、伊豆急黒船電車／金目電車、小田急ロマンスカーなどのイメージ）の運行を2社に働きかける。また山梨／多摩方面からのアクセスを容易にするため、JR横浜線からの直通便運行を働きかける。 （3）大型宿泊施設の誘致：首都圏近傍ゆえに宿泊客が少ないのが現状で、そのため非日常感を味わえる宿泊施設も限定的。観光客にとってお得感がある仕組み（例えば下記（4））を構築し、宿泊客増→大型宿泊施設の進出→宿泊客増という好循環を生む。 （4）多様なレジャープランの提示：日帰りではもったいないという気分を醸成するため、観光（サイクリング／ハイキングを含む）、学び（歴史／地理など）、体験（マリンスポーツ／釣り／魚介類の加工／農産物の収穫など）、食事といったメニューを融合して提供することで、観光客の周遊化／リピート化を促進する。 （5）半島内全域でクリーン施策を導入し、非日常感を醸成する。主要スポット（駅／バス停／観光スポット／海の駅など）にゴミステーション／ポストを設置し、ゴミ回収の協力者にポイントを付与するなど。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
68	4	渋滞対策： （1）半島内の渋滞を緩和するため、一般道へのマイカー乗り入れを極力制限する。その代案として、横浜横須賀道路のインターチェンジ（朝比奈／逗子／横須賀／衣笠／浦賀など）近傍に大型駐車場を整備。地上でのスペース確保が難しい場合、地下スペースを活用する。半島内巡回バス（複数ルートを設定）を運行し、主要スポットへのアクセスをカバーする。駐車場利用を促進するため、駐車場／巡回バスとも無料とする。 （2）渋滞緩和とエコの観点から、巡回バスに加えて半島内のサイクリングロード／遊歩道を整備し、主要スポット（上記）にレンタサイクルのステーションを設置する。同様の観点で、主要港にフェリー発着場を整備し、半島沿岸での巡回船運行を導入する。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。なお、三浦半島で課題となっている渋滞対策については、「プロジェクトを推進する基盤づくり」の「交通ネットワークの整備推進」に位置付けており、引き続き取り組んでまいります。
69	2	海を活用した事業をたくさん行ってほしいです。	A	御意見の趣旨については、「1 多様な海の楽しみ方の発信」の「観光資源としての海の活用」に位置付けて取り組んでまいります。

意見 番号	意見 分類	意見要旨	反映 区分	県の考え方(回答)
70	2	農産物の県外PRを神奈川県＝都市化、人工的というイメージが県外の方にはあるかと思えます。 それを払拭するために、農業や自然を大々的にPRしてください。 また、キャベツや大根等で関東の台所を支えている事実を周知してもらいたいです。既存の観光インフラに加えて、自然・食の魅力を加えてください。 都市部への旅行は興味がないという層が、新たな神奈川の魅力に気がつき、自然と食を求めて神奈川を訪れることにつながります。また県民にとっても、神奈川県の新発見となり、三浦半島の重要性に気がつくことになるでしょう。	A	御意見の趣旨については、「3 地産地消ブランディング」の「地域の産品を活用した情報発信」に位置付けて取り組んでまいります。
71	5	横須賀高校を進学重点校へ 学校は地域活性化の手段として有力な旨は認識されています。現在の横須賀の中学生は、学区廃止に伴い横浜や鎌倉・藤沢へ通学する人数が増えていると察します。これは優秀な人材の流出につながります。次世代を担う中学生が、横須賀に留まりたいと思うために、進学重点校への登録は一つの有用な策と言えます。 進学重点校への登録には、進学実績含む様々な基準が旨は承知をしておりますが、これは鶏と卵の問題です。進学重点校になることで進学実績も上がる、ひいては地域活性化につながると考えます。	D	横須賀高校は、現在学力向上進学重点校エントリー校（期間内に指標に定める基準に達した場合に、学力向上進学重点校に指定する高校）に指定しています。
72	3	現在逗子市に住んでいますが、引っ越してくる前の1年間、子どもたちにどっぷり自然と触れる経験をしてもらいたいと思い、原っぱ大学 (https://harappa-daigaku.jp/) に通っていました。その時に逗子の山や海の魅力を感じたのはもちろん、主催の方と山から海へと歩いているときに、すれ違ったまちの方たちとのコミュニケーションを見ていて、コミュニティの濃さ加減が心地よさそうだなと感じ、徐々に惹かれ、1年後には引っ越しました。定期的に通って、地元の人と関わる機会を持てると魅力を感じてより深く入りたいと思います。そういう機会をたくさんつくれたら良いだろうなと思いました。	A	御意見の趣旨については、「10 若者や働く世代から選ばれる「半島ライフ」の提案」の「移住・定住相談対応等の充実」に反映しました。
73	2	国際ツバキ園の造成 ・久里浜の花の国に小さなツバキ園がありますが中途半端で見学者ががっかり。スペースが充分有のだから本格的なツバキ園としてリニューアルし公園の目玉にして欲しい。ポピーとコスモスだけではお客さんと呼ばない。石川県の野々市はツバキ園を造成し公園の活性化に成功、大きな経済効果を実現した。現在、国際ツバキ園を目指して再整備中。 ・逗子市で池子の米軍利用地の返還に伴い本格的な「ツバキ公園」を計画したがバブル崩壊等で計画が中止となった。 ・日本生まれの世界の花「椿」の国際ツバキ園を三浦半島に造って欲しいという国内外からの要望が大きい。今年は世界ツバキサミットが東京で開催されるが首都圏に本格的なツバキ園が無く苦労している。 ・三浦半島にツバキ園を造るのであれば個人で所有しているツバキを寄贈したいとの声があります。（(社)日本ツバキ協会からの情報）	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
74	2	農業体験が出来る施設、システムを整備して欲しい。 ・子供達が(親子で)農業体験を実践することにより安全・安心な野菜作り(無農薬・有機栽培)の重要性を学ぶ場を提供して欲しい。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
75	2	釣り公園の整備。親子で釣り体験出来る場所が少なくなっている。	C	いただいた御意見については、今後の地域活性化の取組の参考とします。
76	2	海業(環境にやさしい養殖事業) 三浦半島には魚介類の養殖に適している湾(浦)が沢山あるが、ヨットの係留場所になっており、早急になんとかすべきである。現在、ヨットの稼働率は極端に低く、年間に一度も出帆していない艇がほとんどである。	B	本県各地域の特性に適した魚介類の養殖に関する取組を進めてまいります。